

2026年 選抜10月ルーキーズ

日程： 2026年10月25日（日） 予備日がなく、雨天時は中止です。

会場： 青葉の森庭球場 主催： 千葉市テニス協会 ジュニア委員会

【大会日程】2026年10月25日（日）、9:00から15:00頃まで。

【注意事項】

●集合時刻は各ブロックのドローに記載。遅刻は本戦失格です。

●試合はオーダーオブプレーで進行します。

【試合方法】すべての試合⇒ノード方式、6ゲーム先取。

●セルフジャッジで進行します。セルフジャッジのやり方を覚え、「セルフジャッジ5原則」を確認してください。

《サービスはレットがあります。ノーレットルールではありません》

●原則としてテニスウェア、テニスシューズを着用の事。

《本戦の1試合目のみ試合前サーブ練習4本（右2・左2）ができます》

●各自で試合の合間に食事してください。

【大会会場】青葉の森スポーツプラザ庭球場（砂入り人工芝）

【キャンセル・欠場】10/14（水）17時以降のキャンセル、及び当日欠場はエントリー費が発生します。エントリー費は大会当日の本部へお持ちいただくか、下記銀行口座へお振り込みください。

【使用球】YB:ヨネックスチャンピオンシップ、GB:ダンロップステージI。

【エントリー費】受付時に3500円をお支払いください。

なお、お釣りが不要な様にご用意ください。

【入賞】各種目で1位に金メダルを、2位に銀メダルを授与。

お振込先⇒千葉銀行みつわ台支店・普通2156616

千葉市テニス協会ジュニア委員会

1位金メダル



2位銀メダル



本戦および練習試合は各ブロックごとに進行する予定です。

●大会当日の朝に体温を測り、平熱を超える発熱の方、咳やのどの痛みなど風邪の症状がある方、コロナ感染症陽性者との濃厚接触者の方はご来場を見合わせてください。

●キャンセルはテニスベアのチャットでご連絡ください。10/14（水）17時以降はキャンセル料100%になります。

●昼食のための時間は設けていません。試合の合間に、各自でおにぎり等を食べてください。

●高温や湿度の高い時は熱中症が心配されます。熱中症対策をよろしくお願いいたします。

熱中症予防ガイドブック（60頁）JTA版

https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/supoken/doc/heatstroke/heatstroke_0531.pdf

熱中症予防ガイド（千葉市テニス・ジュニア委員会版）

<https://www.tennis0101.co.jp/ccta/heatstroke2024.pdf>

●会場の高浜庭球場は駐車場（50台・無料）が小さいため、選手の方は1家族1台（厳守）とし2台目以降は稲毛海浜公園（海浜プール）の駐車場へ移動してください。観戦や応援の方の駐車スペースはありません。路上駐車は警察に通報されますのでお止めください。また道路での事故防止のため、歩道をふさぐことや、道路土での観戦・応援について行政側から禁止の通達が出ており、この場合も警察に通報されます。ご協力をお願いいたします。

●会場駐車場が開くのは8:00頃です。駐車場制限のためご入場時、ご利用者確認をする場合があります。

●高浜庭球場は砂入り人工芝に改修されました。その際、6番コート付近にコートから直接道路に出るドアが新設され便利になる一方、車と接触する危険性が増えましたので十分ご注意ください。

●雨天等で実施が不明の時は、前夜および当日早朝にフェイスブックとテニスベアのチャットに情報を掲載します。

●欠場者や悪天候により、当日の試合方法が変更される場合があります。

【熱中症対策を！】クーラーボックスなどの用意や、試合合間の休憩時間の過ごし方が重要です。

《お問い合わせ先》ジュニア委員会直通電話：☎090-5585-7868

選手ミーティングを行わない時でも、スムーズに試合進行ができるようにこの「進行ガイド」を良くお読みください。

ルークス 進行ガイド

受付

選手は指定された時刻までに受付してください。
受付時に（お釣りが無いように）エントリー費をお渡しください。

試合方法

【本戦・練習試合とも】ノード方式 6 ゲーム先取。
サービス練習は初戦のみ。試合前のサービス練習は 4 本（右 2 本・左 2 本）です。
サービスのレットはあります。ノーレットルールは採用しません。

試合 進行

本戦トーナメントの進行を優先しつつ、できるだけ練習試合を多く行います。
本戦の終了時、練習試合も終了予定です。

進行はセルフジャッジです。解決に時間がかかる時は役員を呼んでください。
「セルフジャッジ 5 原則」参照。

コート上のトラブルのほとんどは、アウト・フォールのコールやスコアのアナウンスが相手に聞こえないこと、聞こえたのに確認の返事をしないことで起こります。

各自 10 分ごとに、オーダーオブプレー（OP）のボードで進行を確認してください。
また、進行補助に放送を使用する場合があります。

オーダーオブプレー（OP）の用紙で各コートの控えになっている事を確認した選手は、そのことをボードの役員に伝えて自分の名前に○印をつけてもらいます。その後、指定コートの近くで前の試合の進行に注目します。

試合前

対戦する選手の顔合わせを本部前で行います。指定されたコートで前の試合が終わりましたら、コートに入り、続いて同じ場所でラケットスをして、サーブ・レシーブ・エンドを決めます。

試合中

試合球 本部で受け取り、本部にお返しください。

スコアカード ① ドロー番号の早い選手が「緑のスコアカード」を使います。
② 1 ゲーム毎に、ゲームを取った選手が自分のスコアカードをめくります。

足元などの危険なボールは取り除きましょう。

不服や解決できない問題がある時、役員を呼んでください。

試合終了

スコアを確認してから、「ありがとうございました」とお辞儀をします。
挨拶した時点で試合終了になるので、スコアの確認を先に行いましょう。

勝者は結果を本部に口頭で報告してください。役員が OP 用紙に試合結果を記入します。

各コートの最終試合の選手は、コート整備（ブラシ掛け）にご協力ください。

参加賞・表彰

全員に参加賞があります。また入賞者を表彰します（各種目のドローに記載）。

テニス ルール

原則テニスウェア・テニスシューズを着用のこと。ロゴも 指導されます。

試合中のコーチングは違反です

（携帯電話・スマートウォッチなど）いかなる電子機器も試合中は使用や着用ができません。

ポイント間 25 秒、エンド交代 90 秒を自己管理してください

その他

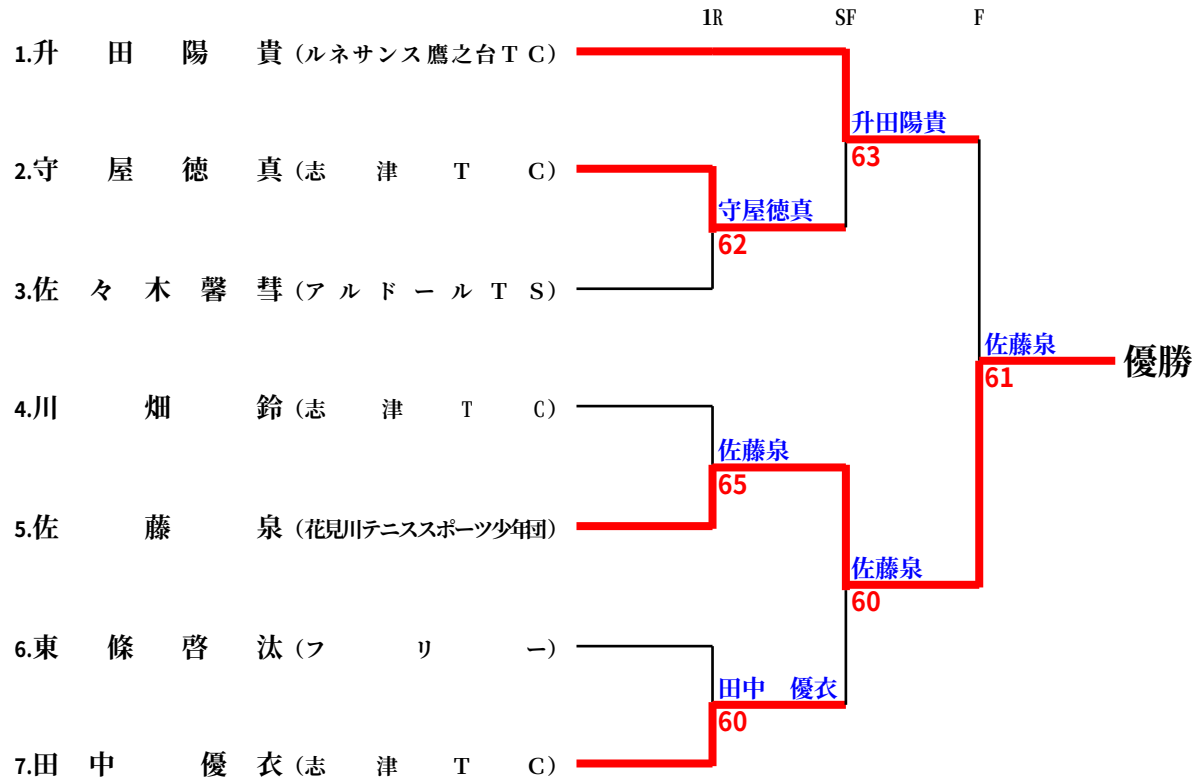
< 以下の観戦マナーをお願いします >

- ミスに拍手しないで、良いプレーに拍手を控えめに！
- 対戦相手を威圧するような応援をしない
- 密な観戦・応援を避ける

ゴミは各自持ち帰って処分してください 会場内での練習・壁打ちは禁止です

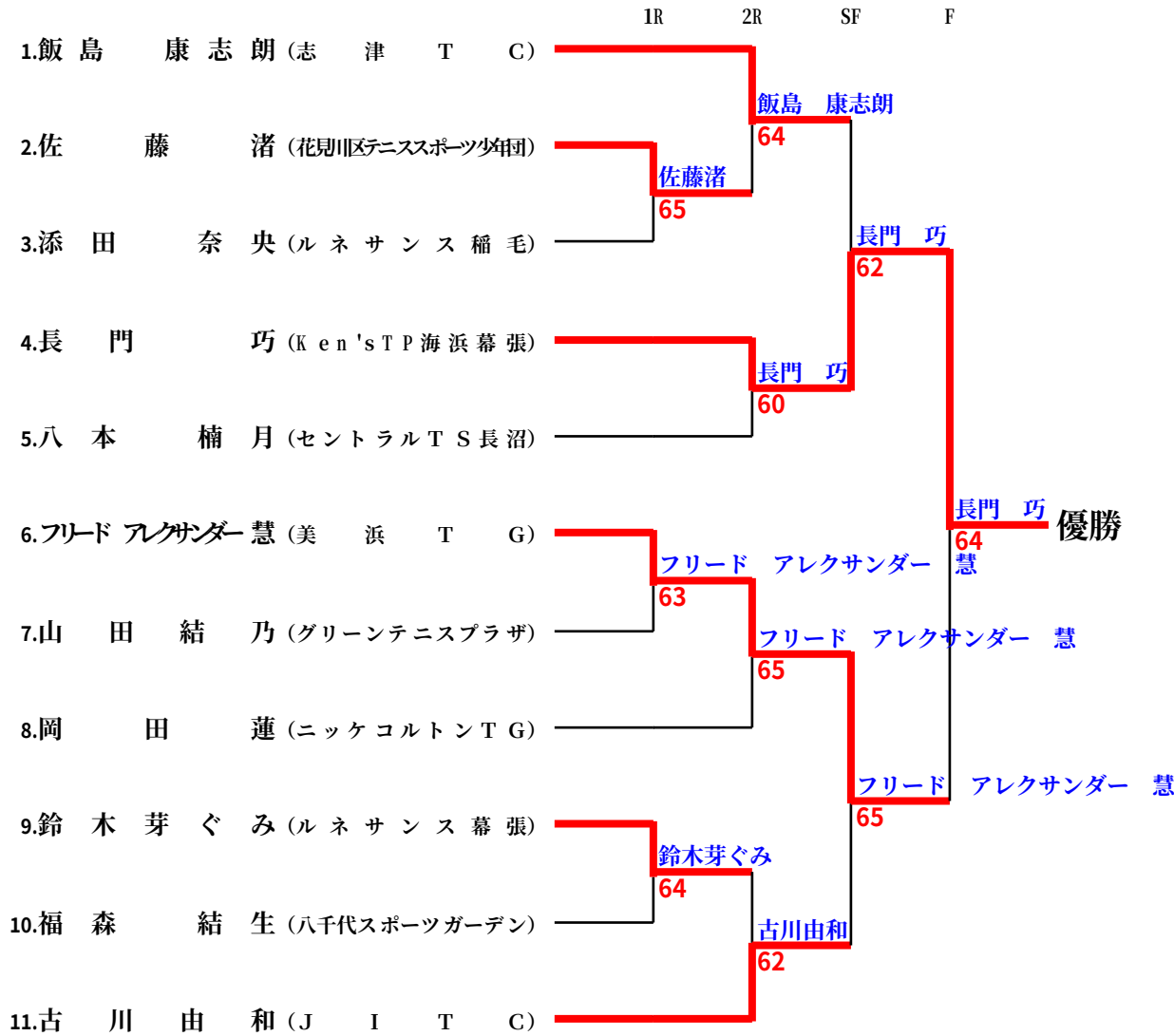
：

GB①の部



トーナメントが終わった選手は練習試合ができます。

Y B ①の部



トーナメントが終わった選手は練習試合ができます。
その都度、練習試合をお申込みください。

Y B ② の部

	1R	2R	SF	F
1.長谷川 竜之介 (IW A Tennis Team)				
2.川 村 亮 太 (Ken's TP 海浜幕張)			長谷川竜之介	
3.真 田 悠 佑 (八千代松陰中)		川村亮太 62	63	
4.今 田 旺 太 (殿 山 T G)			長谷川竜之介	
5.實 川 結 星 (八千代松陰中)		實川 結星 63	63	
6.今 井 蒼 波 (Ken's ITS 四街道)			實川 結星 64	
7.山 崎 柊 作 (シ ー ド T C)		今井蒼波 WO		
8.江 口 怜 (八千代スポーツガーデン)			長谷川竜之介 64	優勝
9.齋 藤 一 心 (八千代松陰中)		江口 怜 64		
10.山 原 颯 太 (Ken's TP 海浜幕張)			賀未 紀仁 63	
11.賀 未 紀 仁 (ルネサンス稲毛)		賀未 紀仁 60		
12.大 塚 智 弥 (千葉県テニス協会)			大塚智弥 62	
13.稲 見 優 月 (アルドールTS)		大塚智弥 64	大塚智弥 44ret	
14.谷 健 瑠 (フミヤエース市川TA)				

トーナメントが終わった選手は練習試合ができます。
その都度、お申し込みください。

ジュニアテニス選手皆様へ
一般・ベテランテニス選手の皆様へ
指導者・保護者の皆様へ
大会主催者の皆様へ



テニス競技での セルフジャッジ5原則の 順守と推進のお願い

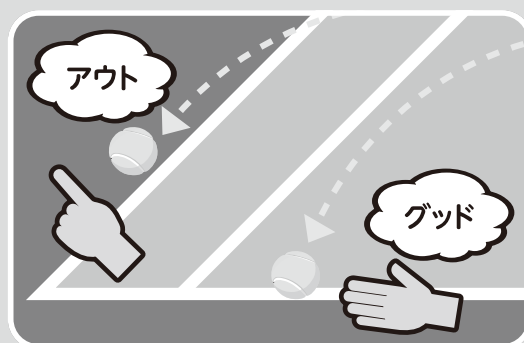


フェアプレイはスポーツの基本です。テニスも例外ではありません。それは、第一に対戦相手をレスペクトしてプレイすることです。

残念ながら、コート内では依然様々なトラブルが絶えません。その大半はポイントの判定に起因するもので、多くのテニス大会で採用されている「チェアアンパイアがつかない試合方法（セルフジャッジ）」が適切に行われていないことが背景にあると思われます。

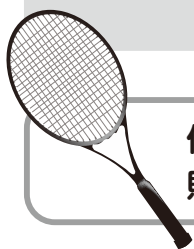
そこで日本テニス協会は、プレイヤーの皆様、保護者、指導者そして大会主催者の皆様に、チェアアンパイアがつかない大会で正しいセルフジャッジを目指し、次のセルフジャッジ5原則の徹底とご理解をお願いすることとしました。

セルフジャッジでは、プレイヤーの人格が試されています。



セルフジャッジ5原則

- ① 判定が難しい場合は「グッド」（相手に有利に）！
- ② 「アウト」または「フォールト」はボールとラインの間に、はっきりと空間が見えたとき！
- ③ サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス！
- ④ ジャッジコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに！
- ⑤ コートの外の人、セルフジャッジへの口出しはしない！



保護者の皆様には、目の前の試合の勝ち負けに一喜一憂することなく、スポーツマンシップに則ったフェアな試合がおこなわれるように、お子様への温かいご支援よろしくお願い致します。